

国立市シルバー人材センターニュース

第 152 号

いぶし銀



発行：公益社団法人国立市シルバー人材センター・編集：広報委員会
住所：国立市富士見台 2-38 TEL：042-577-0919 FAX 042-575-7288
E-mail：kunitachi@sjc.ne.jp URL：http://www.kunitachi-sc.or.jp



多摩川サイクリングロードより石田大橋を望む

シルバー人材センターは
秋の催しに参加します

事業活動推進委員会 池田 則之

残暑続く今日この頃。会員の皆様
夏バテなどしていませんよね。健康
第一ですよ。

さて、活動趣旨の一つ。社会奉仕
活動のシーズンが始まります。奮っ
ての参加をお待ちしております。

日程は次のとおりです。

◆環境フェスタ 10月22日(土)

◆市民まつり 11月6日(日)

◆クリーン多摩川 11月20日(日)

環境フェスタでは、毎年好評の包
丁研ぎ。市民まつりでは、恒例の甘
酒販売、手作り品販売と、会員増強、
就業開拓のためのチラシ配布を行
います。クリーン多摩川では、清掃ポ
ランテア、その後、うどんのサー
ビスがあります。皆様是非時間を作
り、ご参加下さい。



事故発生時の
夜間・休日緊急コールセンター
電話番号 04-2929-8282

- ・写真(多摩川サイクリングロードより石田大橋を望む)、秋の催し...1頁
・理事会協議案件、選挙事務の派遣就業、会員の声...2頁
・会員の声、詩、俳句...3頁
・窓、普及啓発強調月間・イチサン運動、新規会員募集...4頁

平成28年7月、8月
理事会協議案件

【第4回理事会 7月25日】

① 入会希望者・退会者の承認

男性2名の入会承認

② 臨時職員就業規則の一部改正

承認

③ 臨時職員雇用要綱の一部改正

承認

【第5回理事会 8月23日】

① 入会希望者・退会者の承認

男性1名、女性1名の入会承認

―派遣就業―
選挙投票所での案内業務

今年度から開始の『派遣就業』、今回の選挙では期日前投票と投票日に延べ68名の会員が就業。その中から、都知事選挙投票日の案内業務の模様を富士見台1班の千葉校子会員に報告をいただきました。

「7月31日の都合は空いていますか？ 東京のご財団の仕事ですが、後で決まりましたら改めて連絡します」暫くして書類が送られてきました。『都知事選挙投票所案内業務』です。最初、案内の仕事ですというだけで何

をするのか細かい説明が無いので、とても想像がつかなかったのですが、始めてみて「あーそういうことね」確かに案内です。私の案内場所は『第9投票区』。二人一組で、午前二組・午後二組。いつもの場所と会場が変更になっていたので、特に年齢の高い方は習慣的に投票用紙に道案内があるのを見ずに先入観で今迄の会場に向かいます。来ると会場がない！変更会場を丁寧に案内すると「あー書いてあるね」。怒る人は居りませんでしたけど「地図が判りにくいね」、「申し訳ありませんね」、「おみ足が悪いようですが大丈夫ですか？」、「一緒に会場迄行きましょうか？」。皆さん「大丈夫」あるいは「申し訳ありません」。投票に来てくださり会場が違ってもまた、そっちに向かって下さる姿に頭が下がる思いでした。午前中、午後と17人近くの方が会場に向かって投票しに行っていました。嬉しかったです。集合時間、交替時間等々グループ仕事のため、時間厳守を守らないと皆様に迷惑がかります。最終の20時になる頃には役所の方たちは片づけられる物から整理し始め総合体育館に各箇所から一同に集まるそうで遅れない様に

一緒に20時20分位迄最後の片づけを手伝いました。皆さん意気が合い、感じ良く、楽しいお仕事でした。させていただきありがとうございます。

会員の声

この一枚

富士見台3班 佐伯 昇

既に10数年前になると思う：NHKの大河ドラマ『新撰組』を町おこしの一ツとして、ボランティアガイドの募集に即応募した。ガイド仲間から得た資料や、賊軍からか？ 数少ない資料（京都在住ガイド提供）の中から『文武』とも劣る新撰組○番隊・隊長との記事を目にした。

しかし温和で、若い隊員からは父親同様に親しまれ、良き相談役であったと言う。さて、私ごとですが正に『文武』

とも劣りますが、体を動かすことは人一倍自信があると自負している。中学時代はまだ一般的にはあまり知られていない球技、ハンドボール、陸上では短距離（100m）を得意とし、地元青年団

の運動会に引っぱり出されたのが、昨日のようだ。（チョット自慢・母方の従兄弟は国体へ）

先日サンデー毎日の暇つぶしにアルバムを整理していたら、50数年前の新人時代の写真が出てきた。球場は、伊豆の伊東市営球場で当時「東映フライヤーズ」の冬季・キャンプGだったと記憶している。（伊東市役所と親善試合・一勝一敗一分け）その後、野球部出身の後輩にポジションを取られ17市大会を最後に、首になった苦しい出の一枚である。



最後列の右から4番目が筆者

会員の声

学校開放

富士見台3班 林 伸昭

4月から学校開放業務に就業しています。市内の小学校では土日と祝日に校庭と体育館を開放しています。子どもたちの安全を管理の眼目として就業しているのが私たち管理員です。仕事を通して印象に残った出来事を書いてみます。

はじめにサッカーチームAのBコーチについて。Bコーチは65歳を過ぎていて、小学校1〜2年生を受け持っている。イエローカードとレッドカードの説明から、ルールの大切さを教える。規律を身につけるため厳しい訓練を行う。体の苦痛を我慢して自分たちのチームが強くなることを目的にして練習する。そして休憩時間になると家から持参してきたいろいろの味の塩をなめさせ、美味しく塩分補給し、乾燥した大きなバスタオルで一人ひとりの汗を拭き、孫にするような、微笑ましい光景。子どもたちを大声で叱るが、決して怒りで切れてしまうことはない。一度でも本当に怒ってしまったら子どもの訓練

はそのあと成り立たないことを知っているからだと思う。

私は、部員に対する愛情がなくしてはコーチの仕事は務まらないと思いました。

次は野球チームCのDさん。DさんはチームCの少年の母親。コーチや少年たちへの水の補給などを交代で奉仕している若い母親たちの一人。ある時こんなことを話してくれた。

「子どもは何でこんな苦しい練習をしなければならないのか考えることもあるようです。でも、私は一つの目的に向かって練習することが小学生にとって一番大切だよと励ましているんです」私は4月から管理員に就いて、スポーツの重要性を再認識しました。

学校開放就業情報



市内小学校の校庭・体育館で、日曜・祝日・土曜日に就業可能なセンター会員を募集中です。就業を希望する方は事務局に連絡ください。 担当 松原

☎ 577・0919

詩

畑

富士見台3班 古川 勇三

畑に鋤を入れザクザク耕す
土をひっくりかえす
虫は地上にムクムク飛びだし
モグラはモクモクにげだした
ミミズはビクビク踊りだし
土の中は大きわぎ

土の中 名前も知らない虫達がたくさんなにを食べているか
俺は知らない 知ろうともしない
俺は野菜をつくる

肥料をやり水をやり種をまく
だけど少しも大きくならない
となりのおじさんが言っていた
野菜をつくるのではない 土をつくりなさい
たくさんのおじさん 目に見えない虫をたくさん
野菜は太陽の光をもらい雨をもらい
自然に大きく育つ

俺は知らない わからない
土の中の虫と仲よくする方法
土づくりを考え中
今日も野良仕事
あーつかれた

目に汗がしみこむ
目がいいたい!



俳句

谷保2班 石川 継博

○ いつの間に 巣だけ残りて 燕去る
○ 今朝獲りし
○ 大きな秋刀魚を 並べ売る

○ 近付くと 群れて飛び立つ 赤蜻蛉

○ 富士見台1班 大竹 仙寿

○ 炎天や 府中用水 悠々と
○ 古民家や 土間涼風の 跨ぎおり

○ 天神祭 氏子らの熱 熱さ折れ

思い出

富士見台1班 河野 幸江

梅雨晴間の溢れんばかりの緑の中を
旅しました。

都会に長く住んでいる間に、日本の夏の見事な風景を忘れていました。

太陽の下で思い切り遊んだ子供の頃
が鮮明に思い出され、郷愁にかられた
旅でした。

○ 七十年前の少女時代をしのんで。

○ 千代紙を
まとひほおづき 姫となる

○ 爪染めて 姫君となる 鳳仙花
○ 弟に 置き去られし日 捕虫網



窓

生活習慣を省みた2年間

理事 国立市健康福祉部長 藤崎 秀明

一昨年の職場の健康診断で、初めて特定保健指導の宣告を受けた。いわゆる「メタボ指導」である。原因は、日々の晩酌とともに、飲み会後にふと気付くと摂取しているラーメン等々の成果であろう。近年、仕事を言い訳に運動不足が慢性化していたことも拍車をかけたことと思う。毎年、危険水域に近づいていることは見た目の変化と共に薄々感じていたが、ついにこの日がやってきてしまった。

た月数回の運動に加えてウォーキングを行うこと、3・4回の飲み会でラーメンは一度に我慢することとした。

日々体重を測ることで増減を意識し、改善が数値として目に見えることで意欲が高まり、他者が関わることで適度な緊張感もあった。年末年始など、くじけそうになる中、何とか少しずつ改善し、2年かけて今年の健診では無事クリアし、指導から脱出することができた。この間のことを振り返ると、人からでは食事や運動など日々の小さな生活習慣の積み重ねでできているという当たり前のことに、改めて実感をもって気付くこととなった。国立市では2月に「第2次健康増進計画」を策定した。この中では「栄養と適度な運動、睡眠」を健康づくりの3要素として示しており、施策を進めていく予定である。皆様も日々の暮らしの中で、この3要素に留意され、健康を維持していただければと考えられている。私も引き続き改善に向けて努力していきたい。



普及啓発強調月間とイチサン運動協力のお願い

毎年10月は、普及啓発強調月間として全国のシルバー人材センターで様々な取り組みをしています。

当センターでは、昨年度より取り組んでいるイチサン運動による、「会員一人一人が発注者になる」「積極的に社会奉仕活動に参加する」という運動については、皆様のご協力により成果を上げてきています、もう一つの運動である「会員の確保は、あなたの紹介」という運動が成果として表れておらず会員数が減少しております。8月23日現在、会員数は497名です。

センターでは、除草作業、清掃作業、駐輪場・駐車場管理、スーパーマーケット内作業、公共施設管理、家事援助サービスなど新規の仕事依頼や欠員等が生じた場合、現在では希望者以外の方にも声掛けをさせていただくほど会員が不足しております。現在会員の方は、希望の職種の見直しをご検討いただき希望の仕事の追加変更をお願いするとともに、ぜひお知り合いにセンターへの入会を勧めていただきますようお願いいたします。

事業活動推進委員会

新規会員を募集しています

新規会員の入会説明会は、毎月第3木曜日、実施いたします。

◇日時 10月20日(木)

11月17日(木)

12月15日(木)

◇会場 くれたち福祉会館 3階 小会議室

◇当日必要なもの

・年会費 2千円

※ただし、10月入会からの会費は1千円です。

・印鑑(認め印)

・ゆうちょ銀行の通帳

・本人が確認できる証明(健康保険証等)

◎入会手続き後の最初の理事会で承認後、会員となります。

※ご不明な点は、センター事務局へお問い合わせください。

☎ 577・0919